

アレルギー疾患に関する東京都3歳児実態調査

出典	小児耳鼻咽喉科(0919-5858)22巻1号 Page23-27(2001.07) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2001262211)		
著者	上田隆 他		
調査地域	東京都(島しょ地区除く)		
調査時期	1999年9月		
調査対象	3歳(3歳児健康診査の受診対象者全員)		
依頼数	7998人		
回収数(率)	4415人(55.3%) (区部:62.3%、多摩地区:37.4%、男子:51.3%、女子:48.7%)		
診断方法	症状が2年以内にある者(現症)と症状が2年以上前にあった者(既往)の合計を有症とし、医師の診断は問わない		
有症率	アレルギー性鼻炎: 7.5%(326人) 医師の診断あり・現在症状あり: 5.8%(251人) 医師の診断あり・既往あり: 0.3%(13人) 医師の診断なし・現在症状あり: 1.3%(55人) 医師の診断なし・既往あり: 0.2%(7人)		
男女別有症率	アレルギー性鼻炎: 男子:7.8%、 女子:7.1%		
地域別有症率	アレルギー性鼻炎: 多摩地区:8.8% 区部:6.7%		
何らかのアレルギー疾患に罹患している者	41.9%(男:45%、女:39%、1850人)		
調査概要	東京都の3歳児のアレルギー疾患の実態調査論文。約40%が何らかのアレルギー疾患を有しており、区部より多摩地区でアレルギー性鼻炎の有症率が高いが、性別差はみられなかった。		